

特集 “こども病院ボランボラコの会” 11年のあゆみ —企業の助成金に支えられて—



イラストは
ヨシタケ
シンスケさん



2018年9月 全国小児医療施設ボランティアコーディネーターらとカナダの子ども病院訪問

こども病院ボランティアとコーディネーターの会
ボランボラコ新聞

第13号 2023/3/30
事務局
東京都新宿区若松町10-1-302
☎080-5527-4379
代表 坂上和子

タケダ・ウエルビーイングさま
キリン福祉財団さま
11年間継続助成をありがとうございます!!
「こども病院ボランボラコの会」はボランティアとコーディネーターが一緒になってこども病院の療養環境の向上を目指す会です。立ち上げは11年前のこと。「坂上さんは長年の活動から各地に知り合いも多いと思うんです。その人たちと繋がって全国組織を作りませんか」タケダ・ウエルビーイングの助成を受けて始まりました。当時は「全国小児医療施設遊びのボランティア」として申請しました。この助成は2年で終了しました。ところが「この組織を今終わらせたらもったいない!もつと強固なものにして下さい」とキリン福祉財団に引き継がれたのです。当時はまさか9年も助成が続くなど思いもありません。続いた理由はこの会が次なる課題に挑戦したからです。「ボランティアたちのつながりだけでは足りない。ボランティアの窓口となるコーディネーターたちも全国組織が必要!!」。日本の病院は海外に比べてここが最も遅れているのです。またボランティアコーディネーターは数も少なく、つながりもなく孤独でした。組織になると「よそはどんな活動をしているか」、お互いの病院を見て回りました。目からうろこの体験を重ね、先駆的なカナダのこども病院にも視察に行きました。そうやって自分たちの役割の自覚を深めていったのです。そして3年前、コロナ禍にみまわれ、病院ボランティア活動はこれまで経験したことのない時代に突入しました。けれどもこのつながりのおかげで、ボランティアたちは形を変えつつも活動を継続し「ボランボラコの会」はかえって絆を深めました。ここまでに11年の年月があり、そのうち9年はキリン福祉財団に支援されました。両助成金はトータルで千百万円。助成金担当の方は会議や視察先にも同行いただき、現場でのサポートはたいへん心強く思われました。私たちはこれからも力を合わせてこども病院の療養環境の向上に努めて参ります。

こども病院ボランボラコの会代表・認定NPO法人病気の子ども支援ネットワーク遊びのボランティア理事長
坂上和子(ソーシャルワーカー)

企業の応援で全国組織へ発展

2012年・13年まで(2年間) タケダ・ウエルビーイング
2014年から22年まで(9年間) キリン福祉財団

年度	助成先	名称	額万円	主な取り組み (参加人数)
2012	市民創造ファンド	全国小児医病棟遊びのボランティア	50	発足 遊びのボランティア設立 東京 (26)
2013	市民創造ファンド	全国小児医病棟遊びのボランティア	150	第2回全国交流集会 あいち (85)
2014	キリン福祉財団	全国小児医病棟遊びのボランティア	100	第3回全国交流集会 大阪 (88)
2015	キリン福祉財団	全国小児医病棟遊びのボランティア	100	第4回全国交流集会 東京 (94)
2016	キリン福祉財団	全国小児医病棟遊びのボランティア	100	各地こども病院視察 沖縄・宮城・神奈川 (145)
2017	キリン福祉財団	全国小児医病棟遊びのボランティア	100	トロントこども病院視察 シックキッズ他 (13)
2018	キリン福祉財団	小児医療施設ボランティアコーディネーターの会	150	名称変更 設立の会 神奈川 (17病院 66)
2019	キリン福祉財団	小児医療施設ボランティアコーディネーターの会	80	ボラコ新聞発行 規約作成・総会開催
2020	キリン福祉財団	小児医療施設ボランティアコーディネーターの会	100	小児看護に12回連載(6月から) zoom会議
2021	キリン福祉財団	小児医療施設ボランティアコーディネーターの会	100	ボランボラコの会設立準備 HP作成
2022	キリン福祉財団	こども病院ボランボラコの会	70	名称変更 ボランティア団体も加盟(58)



2016年3月 第4回
全国交流会(東京エーザイ本社)



2016年ボランティア交流会
(宮城こども病院)



2023年1月
ボランボラコ交流会



2019年コロナで
Zoom会議開始



2018年コ
ーディ
ネーターの会発足

育ての親はキリン福祉財団

生みの親はタケダ・ウエルビーイング

2012年度 **第1回全国小児病棟遊びのボランティア発足**
 全国交流集会在9都府県参加26名 東京で開催 参加団体の活動エリアは沖縄 名古屋・大阪・鹿児島奄美大島・京都・東京・神奈川・新潟・山梨

2013年度 第2回全国交流集会在あいち小児保健医療総合センターで開催 参加 85名
 センター職員、大学、専門学校教員、学生、ボランティア、US、保育士のほか病院で活動するボランティアらは愛知、広島、京都、沖縄、東京、神奈川、埼玉、北海道から参加。基調講演は安立清史(九州大学大学院人間環境学研究院教授)

2014年度 第3回全国交流集会在大日本住友製薬本社ホールで開催 88名
 基調講演山口悦子氏(大阪市立大学医学部医療安全管理学部・副部长 医師)
 土田輝美氏(大阪府立母子保健総合医療センター ボランティアコーディネーター)
 坂上和子氏(認定NPO法人病気の子ども支援ネットワークのボランティア理事)
 意見交換会 京都大学附属病院「ここにこトマト」・大阪教育大学「遊びのボランティア」・西遊子・病児のきょうだい支援「しぶたね」・長野県立こども病院「お話ボランティア」大阪府立母子保健総合医療センター「ソートイング・ママの手」・広島大学病院「えほんのつばさ」講師 茨木尚子氏(明治学院大学社会学部教授)

2015年度 第4回全国交流集会在東京・文京区エーザイ株式会社ホールで開催 94名
 患者家族6人の報告と各地のボランティア活動報告 パネルディスカッション
 土田輝美 大阪府立母子保健総合医療センター専任コーディネーター
 小松美智子 武蔵野大学大学院教授
 細川香奈 国立国際医療研究センター看護師
 近藤博子 がんの子どもを守る会副理事
 川上清子 日本女子大学教授。
 茨木尚子 明治学院大学教授。
 松本公一 国立成育医療研究センター・小児がんセンターセンター長 医師
 総司会 高橋美佐子 朝日新聞記者

2016年度 第5回全国交流集会在小児医療施設の見学と交流会
 ① 沖縄南部医療センター・こども医療センター7月(参加42名)
 ② 宮城県立こども病院9月参加46名
 ③ 神奈川県立こども医療センター(10月参加57名)
 3病院の視察報告会を東京で開催。11月参加23名視察(報告書を提出)

ボランティア全国組織からコーディネーターの全国組織へ

2017年度第6回**海外こども病院視察**
 9月 参加13名
 訪問先 カナダオンタリオ州の2施設訪問
 ① The Hospital For Sick Children "SickKids"
 ② Kids Rehabilitation Hospital "Holland Bloorview"
 事前に質問事項20を視察先に送り、回答を含めた病院の概要およびボランティアサービスマン全体についての説明とその資料を得た。神奈川こども医療センター、沖縄県こども医療センター、あいち小児保健医療総合センター、国立国際医療研究センター、宮城県立こども病院、大阪府立母子保健総合医療センター。医師、ボランティアコーディネーター、ボランティアグループ代表、小児がん専門看護師、保育士ら

2018年度第7回 会の名称変更 **小児医療施設ボランティアコーディネーターの会**発足10月会場は神奈川
 参加者66名(17施設)
 ① 宮城県立こども病院② 自治医科大学とちぎ子ども医療センター③ 福岡市立こども病院④ 群馬県立小児医療センター⑤ 埼玉県立小児医療センター⑥ 千葉県こども病院⑦ 神奈川県立こども医療センター⑧ 静岡県立こども病院⑨ あいち小児保健医療総合センター⑩ 大阪府立母子総合医療センター⑪ 四国こどもとおとなの医療センター⑫ 沖縄県立南部医療センターこども医療センター⑬ 国立がんセンター中央病院⑭ 慶應義塾大学病院⑮ 順天堂医院⑯ 国立国際医療研究センター⑰ 神奈川県立総合療育相談センター
 ★大阪府立母子総合医療センター施設見学 参加21名

2019年度第8回
 1、研修会埼玉小児10月参加19名
 2、研修会「全国ボランティアコーディネーター研究会」(JVC)、会場 オリンピック青少年センター 参加18名。
 (詳細はボラコ新聞4号参照)

2020年度第9回 **小児看護雑誌に12回連載開始。**テーマ「小児医療施設ボランティアコーディネーターの仕事」
 ・「ボラコ新聞5号・6号で報告」
 コロナ禍のため9月からズーム会議開始

ボランティアとコーディネーターの全国組織へ

2021年度第10回
 「こども病院ボラコ会」準備
 各地の病院・ボランティア団体と情報共有を実施月(4・7・10・3)
 病院交流
 ・京都大病院ボランティアの会(ここにこトマト)代表と対談。3月
 広報活動としてHPを作成
 ・(URL) <https://www.boraboraco.net>
 ・小児看護連載12回を冊子にし関連団体に郵送・新聞4回発行
 ・日本ボランティアコーディネーター協会のコーディネーター検定試験を2名が受験し1級2級を取得。
 ・HPの開設で情報と寄付が増える

2022年度第11回
「こども病院ボラコ会」発足
 初の全国交流会を開始 神奈川にて(58)施設見学
 ・とちぎこども医療センター訪問 9月
 静岡県立こども病院訪問 3月
 新規加入者①神奈川オレンジクラブ②にこにこトマト③スマイリングホスピタル④絵本カーニバル⑤ホスピタルクラウン

★各地のこども病院のコーディネーターの組織作りが出来たことは資金面のご支援あったからこそ(静岡Co)
 ★孤独で大変な仕事ですが、さらに未曾有のコロナ見舞われ、そんな中でもなんとか活動が出来たのはお互いのつながりがあったから(宮城Co)
 ★カナダのトロントのコーディネーターと直接話し、発展する仕組みを肌で感じられたことが特に貴重な経験(あいち保育士)
 ★当初ボランティアさんの前でおろろろするのはこの会のおかげでした(埼玉Co)
 ★情報を得ることが難しい私たちの立場をご理解いただきました。繋がりのおかげで有意義な活動が出来ています。(大阪Co)
 ★支援のおかげでボラン・ボラコ会につながり、コーディネーターの輪が広がりました。有難かったです(沖縄Co)
 ★人と人をつなげる仕事をしながら孤独でした。全国を訪問し情報交換や見学会を開き、全国の交流会が開催できたのもご支援のおかげと感謝しています(神奈川Co)

「助成金ありがとうございました」各地のボランティアコーディネーターより

★各地のこども病院のコーディネーターの組織作りが出来たことは資金面のご支援あったからこそ(静岡Co)
 ★孤独で大変な仕事ですが、さらに未曾有のコロナ見舞われ、そんな中でもなんとか活動が出来たのはお互いのつながりがあったから(宮城Co)
 ★カナダのトロントのコーディネーターと直接話し、発展する仕組みを肌で感じられたことが特に貴重な経験(あいち保育士)
 ★当初ボランティアさんの前でおろろろするのはこの会のおかげでした(埼玉Co)
 ★情報を得ることが難しい私たちの立場をご理解いただきました。繋がりのおかげで有意義な活動が出来ています。(大阪Co)
 ★支援のおかげでボラン・ボラコ会につながり、コーディネーターの輪が広がりました。有難かったです(沖縄Co)
 ★人と人をつなげる仕事をしながら孤独でした。全国を訪問し情報交換や見学会を開き、全国の交流会が開催できたのもご支援のおかげと感謝しています(神奈川Co)